

Q&A

一般質問

くすい つねお
楠井 常夫 議員

新政会



**新年度におけるさらなる
コロナ対策は**

Q 新型コロナウイルス感染症対策として様々な施策を実施してきたが、各地でクラスターが発生するなど、今後も予断を許さない状況が続くと思われる。新年度における新たな感染者を出さない対策やクラスターを発生させない対策、また、経済や生活支援対策は考えているのか。

A 感染予防やクラスターの防止には、市民一人一人が感染対策を徹底するよう啓発に努めることも、全市民を対象としたワクチン接種が重要な事業であると考えています。ワクチンの供給が可能となった場合には、速やかに接種を開始できるように、実施体制の構築に向けて準備を進めていきたいと考えています。

今後さらなる感染予防対策が必要となった場合には、国や県の対応も踏まえて、全庁的な対応を図っていきたいと考えています。

A 市民生活に深刻な影響を及ぼす局面が訪れた場合には、感染拡大防止対策や生活支援、地域経済支援など、最善の施策に躊躇なく全力で取り組んでいきます。

(総務部長)

**来年度からの少人数学級の
実現の見通しと市としての
取組は**

Q 学力向上や個性の伸長など、よい成果が期待できると思われる、少人数(35人)学級の実現の見通しと本市の取組について伺う。

A 新型コロナウイルス感染症対策で教室の3密回避のため、文部科学省が小中学校の少人数学級の拡充に向けた検討を進めており、教育改革の柱の一つとして、来年度からの段階的な導入を目指していることと承知しています。学級編制基準の引き下げを含め、少人数によるきめ細やかな指導体制の計画的な整備を進めようとしていることから、その実現に期待しているところです。

市教育委員会としては、引き続き、県教育委員会に対して、全ての学年で定数措置による35人以下学級編制が実現できるような強く要望してまいります。



(教育長)

**質問の
主な項目**
・安全・安心なまちづくりについて
・市主催の行事について

うえはら ゆたか
植原 泰 議員

無所属



セアカゴケグモへの対応策は

Q 危険生物であるセアカゴケグモの生息が市内全域に拡大している。活発に活動し始める春先に、市の広報やチラシ等を使って注意喚起できないか。

A セアカゴケグモが発見された場合、市ホームページへ発見日及び発見場所、発見した個体の数量や駆除方法等についての掲載を行うとともに、近隣住民等へのお知らせを配布しています。

今後の注意喚起については、多くの市民の方に情報を提供できるように、活発に活動し始める春先において、市広報への掲載とチラシ等も使用した注意喚起について検討していきたいと考えています。

(建設経済部長)

**質問の
主な項目**
・交通安全対策について

**高齢者の生活圏を守る
取組は**

Q 運転免許証返納後の高齢者の生活圏を守り、国の支援事業を利用するためにも個別計画の策定を進めてはどうか。

A 平成22年度に坂出市公共交通総合連携計画を策定しており、この計画に基づき、公共交通空白地域の解消を図るため、平成23年からデマンド型乗合タクシーの運行を開始しています。また、市街地では平成24年から循環バスの運行を開始し、令和2年10月からは中心市街地における利便性の向上に努めています。

今後は、立地適正化計画における、まちづくりの基本方針である、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現に向け、公共交通の連携強化を図るため、地域公共交通計画の作成にも取り組んでいきたいと考えています。

(建設経済部参事)

